



令和4年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

令和4年2月9日

上場会社名 株式会社アビスト 上場取引所 東  
 コード番号 6087 URL <https://www.abist.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 進 勝博  
 問合せ先責任者 (役職名) 代表専務取締役 (氏名) 進 顕 (TEL) 0422-26-5960  
 四半期報告書提出予定日 令和4年2月9日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 令和4年9月期第1四半期の連結業績(令和3年10月1日～令和3年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
4年9月期第1四半期	2,360	1.8	233	0.3	275	△3.1	177	△11.2
3年9月期第1四半期	2,319	△0.7	232	△19.3	284	△4.7	200	8.8

(注) 包括利益 4年9月期第1四半期 183百万円(△12.5%) 3年9月期第1四半期 209百万円(2.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
4年9月期第1四半期	44.71	—
3年9月期第1四半期	50.34	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
4年9月期第1四半期	7,924	5,919	74.7
3年9月期	8,410	6,141	73.0

(参考) 自己資本 4年9月期第1四半期 5,919百万円 3年9月期 6,141百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
3年9月期	—	0.00	—	102.00	102.00
4年9月期	—	—	—	—	—
4年9月期(予想)	—	0.00	—	102.00	102.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 令和4年9月期の連結業績予想(令和3年10月1日～令和4年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,670	3.4	250	△17.4	280	△26.9	160	△34.8	40.20
通期	9,670	7.2	640	45.6	670	8.4	460	△31.3	115.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 ー社(社名)ー 、除外 ー社(社名)ー
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	4年9月期1Q	3,980,000株	3年9月期	3,980,000株
② 期末自己株式数	4年9月期1Q	344株	3年9月期	344株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	4年9月期1Q	3,979,656株	3年9月期1Q	3,979,694株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、決算短信【添付資料】2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	1
(1) 経営成績に関する説明	1
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(会計方針の変更)	6
(四半期連結貸借対照表関係)	6
(セグメント情報)	7
(収益認識関係)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルス変異株の蔓延による感染件数の増加もあり、景気回復は停滞し、エネルギー価格上昇と供給中断によって、予想以上に広範囲に渡る激しいインフレが起きております。先行きについては、インフレ圧力を緩和するために引き締め路線を継続する一方で、保健・社会支出を優先し、流動性アクセスを維持しつつ、必要に応じて債務再編を順序よく進めるため、国際協力が不可欠となっております。また、新たな変異株が出現すれば、パンデミックはさらに長期化し、経済に新たな混乱を引き起こす恐れに注意する必要があります。

当第1四半期連結累計期間の我が国経済においては、新型コロナウイルス感染症による厳しい状況が徐々に緩和され、感染対策に万全を期し、経済社会活動を継続していく中で、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、景気の持ち直しが期待されておりました。一方で、足元では新型コロナウイルス変異株の感染拡大により、その収束時期は見通せず、依然として不透明な状況が続いております。先行きについては、新型コロナウイルス感染症による影響や供給面での制約、原材料価格の動向による下振れリスクに十分注意する必要があります。また、金融資本市場の変動等の影響を注視する必要があります。

当社グループが主力事業を展開する自動車業界及び自動車部品業界においては、一部で半導体不足による生産調整の動きがみられるものの、世界的に次世代技術の開発に向けて研究開発の歩みは益々加速していくものとみられます。当社が主力とする設計開発アウトソーシング事業は生産の上流工程であるため、自動車メーカーの工場稼働停止や減産が、契約解除等の直接的な影響は少ないものとみておりますが、新型コロナウイルス感染症流行前の稼働工数への回復には時間を要することが予想されます。また、新型コロナウイルス感染症の流行が長期化、さらに深刻化した際などには業績に影響を及ぼす可能性もあるため、引き続き、業界の動向に注視する必要があります。

以上のような事業環境のもと、当社は主力事業である設計開発アウトソーシング事業における請負業務の拡大を中心に、積極的な事業推進に励んでまいりました。その結果、当第1四半期連結累計期間における当社グループの売上高は23億60百万円（前年同期比1.8%増）、営業利益は2億33百万円（同0.3%増）、経常利益は2億75百万円（同3.1%減）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は1億77百万円（同11.2%減）となりました。

セグメント別の業績を示すと、次のとおりであります。

#### ①設計開発アウトソーシング事業

当セグメントにおきましては、売上高は22億70百万円（前年同期比2.0%増）となり、セグメント利益（営業利益）は4億48百万円（同3.9%増）、セグメント利益（営業利益）率19.8%となりました。主に請負において受注量が増加したことと、若手技術者を含めた技術者稼働率を高水準で維持することで、増収増益に寄与いたしました。

#### ②3Dプリント事業

当セグメントにおきましては、D f AM（3Dプリント向け設計）関連を含めた提案営業を積極的に実施し、併せて固定費など経費の見直しを実施した結果、売上高は、28百万円（前年同期比14.0%増）となり、セグメント損失（営業損失）は3百万円（前年同期はセグメント損失（営業損失）10百万円）となりました。

#### ③美容・健康商品製造販売事業

当セグメントにおきましては、美容商品のテレビ通販放映による売上は減少しましたが、大型OEM受託製造の受注により売上を補填しました。只一方、大型OEM受託製造の受注による人件費の増加が発生した結果、売上高は46百万円（前年同期比1.9%増）、セグメント損失（営業損失）は38百万円（前年同期はセグメント損失（営業損失）13百万円）となりました。

#### ④不動産賃貸事業

当セグメントにおきましては、前第2四半期に収益用不動産を売却したことにより、売上高は14百万円（前年同期比37.6%減）となり、セグメント利益（営業利益）は5百万円（同179.0%増）、セグメント利益（営業利益）率40.8%となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は79億24百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億85百万円の減少となりました。これは、主に配当金の支払いにより現金及び預金が減少したことによるものです。

負債合計は20億5百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億63百万円の減少となりました。これは主に賞与引当金の減少によるものです。

純資産合計は59億19百万円となり、主に配当金の支払いにより前連結会計年度末に比べ2億22百万円の減少となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、令和3年11月10日に公表いたしました業績予想に変更はありません。今後、業績予想に関して修正の必要が生じた場合には速やかに開示する予定であります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和3年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (令和3年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,590,970	3,278,164
売掛金	1,334,259	1,322,141
仕掛品	46,776	79,896
原材料	41,247	24,447
その他	175,140	145,026
流動資産合計	5,188,393	4,849,676
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,077,359	1,067,434
土地	1,044,527	1,044,527
その他(純額)	141,642	128,616
有形固定資産合計	2,263,529	2,240,578
無形固定資産	258,231	238,835
投資その他の資産	700,183	595,496
固定資産合計	3,221,944	3,074,910
資産合計	8,410,338	7,924,586
<b>負債の部</b>		
流動負債		
短期借入金	50,000	50,000
未払金	631,117	694,416
未払法人税等	216,520	16,924
賞与引当金	363,086	—
その他	182,913	398,649
流動負債合計	1,443,637	1,159,990
固定負債		
役員退職慰労引当金	246,320	254,621
退職給付に係る負債	509,758	522,359
その他	68,957	68,567
固定負債合計	825,036	845,547
負債合計	2,268,673	2,005,538
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,026,650	1,026,650
資本剰余金	1,016,650	1,016,650
利益剰余金	4,142,169	3,914,173
自己株式	△1,081	△1,081
株主資本合計	6,184,387	5,956,392
その他の包括利益累計額		
退職給付に係る調整累計額	△42,722	△37,344
その他の包括利益累計額合計	△42,722	△37,344
純資産合計	6,141,665	5,919,047
負債純資産合計	8,410,338	7,924,586

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 令和2年10月1日 至 令和2年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 令和3年10月1日 至 令和3年12月31日)
売上高	2,319,198	2,360,031
売上原価	1,728,211	1,738,637
売上総利益	590,986	621,394
販売費及び一般管理費	358,141	387,747
営業利益	232,844	233,647
営業外収益		
受取手数料	175	157
助成金収入	51,862	42,121
その他	40	103
営業外収益合計	52,078	42,382
営業外費用		
支払利息	46	77
営業外費用合計	46	77
経常利益	284,876	275,952
税金等調整前四半期純利益	284,876	275,952
法人税、住民税及び事業税	4,627	4,088
法人税等調整額	79,923	93,934
法人税等合計	84,550	98,023
四半期純利益	200,325	177,928
親会社株主に帰属する四半期純利益	200,325	177,928

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 令和2年10月1日 至 令和2年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 令和3年10月1日 至 令和3年12月31日)
四半期純利益	200,325	177,928
その他の包括利益		
退職給付に係る調整額	9,069	5,378
その他の包括利益合計	9,069	5,378
四半期包括利益	209,395	183,307
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	209,395	183,307
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 令和2年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財またはサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財またはサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項のただし書きに定める経過的な取り扱いに従っておりますが、利益剰余金の期首残高に与える影響はありません。

また、収益認識会計基準等の適用による当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響はありません。

なお、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 令和2年3月31日)第28-15項に定める経過的な取り扱いにしたがって、前第1四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載していません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 令和元年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 令和元年7月4日)第44-2項に定める経過的な取り扱いにしたがって、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしています。

なお、時価算定会計基準等の適用による、当第1四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(四半期連結貸借対照表関係)

偶発債務

連結子会社が納品した製品の一部について品質不適合が発生し、その対応費用が発生する可能性があります。その金額については現時点では合理的に見積ることが困難であるため、その影響を四半期連結財務諸表に反映していません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 令和2年10月1日 至 令和2年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	設計開発 アウトソーシ ング事業	3Dプリント 事業	美容・健康商 品製造販売 事業	不動産賃貸 事業			
売上高							
外部顧客への売上高	2,225,599	25,143	45,122	23,332	2,319,198	—	2,319,198
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	31	—	31	△31	—
計	2,225,599	25,143	45,153	23,332	2,319,229	△31	2,319,198
セグメント利益又は 損失(△)	432,007	△10,591	△13,747	2,129	409,797	△176,952	232,844

(注) 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益又は損失(△)の調整額△176,952千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自 令和3年10月1日 至 令和3年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	設計開発 アウトソーシ ング事業	3Dプリント 事業	美容・健康商 品製造販売 事業	不動産賃貸 事業			
売上高							
外部顧客への売上高	2,270,811	28,673	45,983	14,563	2,360,031	—	2,360,031
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	44	—	44	△44	—
計	2,270,811	28,673	46,028	14,563	2,360,076	△44	2,360,031
セグメント利益又は 損失(△)	448,658	△3,023	△38,877	5,941	412,699	△179,052	233,647

(注) 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益又は損失(△)の調整額△179,052千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更に記載のとおり、当第1四半期連結会計期間の期首から収益認識会計基準等を適用し、収益認識に関する会計処理方法を変更したため、事業セグメントの利益又は損失の算定方法を同様に変更しております。

当該変更による当第1四半期連結会計期間の報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失金額に影響はありません。

## (収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

当第1四半期連結累計期間(自 令和3年10月1日 至 令和3年12月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				合計
	設計開発 アウトソーシ ング事業	3Dプリント 事業	美容・健康商 品製造販売 事業	不動産賃貸 事業	
請負契約	1,386,390	—	—	—	1,386,390
派遣契約	871,225	—	—	—	871,225
その他	13,195	28,673	45,983	—	87,851
顧客との契約から生じる収益	2,270,811	28,673	45,983	—	2,345,467
その他の収益	—	—	—	14,563	14,563
外部顧客への売上高	2,270,811	28,673	45,983	14,563	2,360,031

(注) その他の収益には、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号 平成19年3月30日)に基づく賃貸収入が含まれております。